

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	訪問指導事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			Tel 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	寝たきり等の方に対し、家庭において必要な保健指導を実施し、本人の心身の機能低下を防止するとともに、健康保持の増進を図る。また、介護する家族の健康維持も図るものとする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	原則として40歳以上65歳未満の方で、主に家庭において寝たきり、若しくはこれに準ずる状態にある方及び健康診査等で必要と認められる方	対象とした数	116,953	人
		実際に 利用した数	183	人

活動の内容	(何を したか)	保健師・看護師・歯科衛生士・栄養士・理学療法士・作業療法士が家庭を訪問し、本人及びその家族に対して、保健・栄養・運動・口腔衛生・リハビリ等に関する必要な保健指導を実施する。また、各種サービス等の活用に関する相談・調整も併せて実施する。							
活動実績	項目名	訪問指導	183	項目名	-----	項目名	-----	項目名	-----
			単位 人				単位		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,079	1,010	18,765	55.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	訪問件数	延べ訪問件数	500	446	89.2
			単位 件	単位 件	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了	
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040900	TEL	2991-1811
事業コード	訪問指導事業		保健福祉部 成人保健課			
040910			グループ	地域健康づくり担当		
開始年度		平成 6 年度	—	終了年度		平成 年度

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画、健康日本21所沢市計画			老人保健法				
	関連・類似事業	健康相談事業、健康診査事業、機能訓練事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱	(4) 生活機能低下予防事業の推進
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	平成6年度から法に基づき事業を開始し、平成12年度から介護保険制度の開始に伴い、実施内容を介護保険サービスと重複しないものとして実施。平成18年度からは、介護保険法の改正により、40歳から64歳までを老人保健法として、65歳以上を介護保険法の地域支援事業として実施している。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に) 寝たきり等の方に対し、家庭において必要な保健指導を実施し、本人の心身の機能低下を防止するとともに、健康保持の増進を図る。また、介護する家族の健康維持も図るものとする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか) 原則として40歳以上65歳未満の方で、主に家庭において寝たきり、若しくはこれに準ずる状態にある方及び健康診査等が必要と認められる方					利用数の考え方 訪問指導を実施した人数				
	対象数	単位	平成 18 年度	116,986	人	利用数	単位	平成 18 年度	164	人
			平成 19 年度	116,953	人			平成 19 年度	183	人
事業の具体的な内容及び実施方法 保健師・看護師・歯科衛生士・栄養士・理学療法士・作業療法士が家庭を訪問し、本人及びその家族に対して、保健・栄養・運動・口腔衛生・リハビリ等に關する必要な保健指導を実施する。また、各種サービス等の活用に関する相談・調整も併せて実施する。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 広報ところざわや民協定例会等を通じて、訪問指導事業について周知を図った。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,568	2,079	1,628
	決算(見込み含む)		991	1,010	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (0.40 人) (人) (0.55 人)			
	正規職員人件費		2.11 人 19,412	1.89 人 17,755	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		20,403	18,765	
	財源内訳	一般財源	19,945	18,281	1,628
		国・県支出金	458	484	
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	60.4	55.3		
	利用数一単位あたり(単位:円)	124,408.5	102,539.1		

⑥指標	項目名	訪問指導	訪問実人数	単位	人	H 18	164	H 19	183	H20見込み		将来目標
	活動実績											
	成果分析	訪問件数	延べ訪問件数	件		目標値	500	500	500			
				%	達成率		495	446		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	難病、精神保健等における個々のケースは、非常に複雑化しており、訪問による指導は非常に重要となるため、今後も引き続き事業の充実を図っていく必要がある。					
今期目標項目(何を)	訪問指導については、市民の心身の機能低下の防止等の観点から、さらに充実していく必要がある		達成水準(どこまで)	年間を通した円滑な事業の実施を図る。		時期(いつまで)	平成21年3月末
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	訪問指導事業は、保健事業推進のための柱の一つであり、訪問を必要とする市民を支援するといった観点から極めて重要な事業である。必要に応じて保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士及び作業療法士が、家庭において保健指導及び介護家族相談を実施することは今後も必要な施策である。						
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	成人保健課長 細江 松子				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性									
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了									
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了									
	評価理由	評価理由									
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業				
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
	評価日										

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード									
	施策の体系	施策の方向									
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード									
	基本目標										
主要課題											
施策の方向											